

## 2023年1月15日(日) 小瀬田の四季

小瀬田の管理をしている農家の桑原さんから、落ち葉かきの話を聞きました。堆肥を作るため、落ち葉を1ヶ所にかき集めるのが落ち葉かき。落ち葉は地面の上で分解されて栄養豊かな黒土になります。集めて米ぬかや大豆の煮汁などをかけておくと、発酵が進み分解が早まり、良質な肥料が出来ます。また、発酵する時の熱を利用して春先の野菜の苗床を温めることにも利用されます。小瀬田で育てている米も大豆も麦もこの肥料で育ち、その米のぬかや味噌作りの大豆の煮汁も肥料を作るのにつかわれ、里山全体で循環しているというお話でした。



実際に桑原さんから落ち葉かきのやり方を教えてもらい、みんなで落ち葉かきをしました。

斜面の上から落ち葉を熊手で1ヶ所にかき集めながら、下に下にとまとめていく作業。落ち葉を集まる音が、まるで波の音のようでした。山にいるのに海にいるような不思議な体験でした。

斜面から落ち葉を落とすように集めていくのと、みるみる山盛りになっていくのが楽しくて、みんな夢中で集めていました。

たくさん集めた落ち葉を使い、ネイチャーゲーム『大地の窓』をしました。

落ち葉の中に全身を沈め、開いているのは目元だけ。落ち葉に身をうずめると、ホンワカ暖かく、静かな時間に空をみあげるとまるで大地や大地にいる生き物になった気分になりました。

お昼休憩には、あやちゃんが前回摘んだヤブツルアズキ煮が振舞われました。艶々のヤブツルアズキはとても美味しく、『次はもっとたくさん取りたいね』と、皆がヤブツルアズキの虜になりました。

元気チャージ後は、小瀬田探検へ！

現在、小瀬田沼は水を完全に抜いて、かいぼり中。水がある時は行けない沼の向こうの道をはじめて探索し、小瀬田ダム池(命名)を発見！そこには大きな魚とたぬぎのトイレ(ためふん)もありました。

ドラえもんの空き地に置いてあるような、土管をみつけて中に入ったり、急斜面を降りて川をみつけたり、岩壁のぼりなどもしました。山肌や地面の様子もいつも探検している山とは違い、沼の向こうには、びっくりするくらい、ドキドキとワクワクがたくさん詰まった楽しい場所だったので、

『ドキドキわくわく楽しくてびっくりコース！？』という名前が付けられました。

